

学校経営方針：“信頼の絆”で結ばれた学校づくり

熊野町立熊野第二小学校

【広島県の方針】
広島で学んで良かったと思える
広島で学んでみたいと思われる
日本一の教育県の実現

令和8年度 学校経営計画

【熊野町教育行政施策の方針】
学び力と豊かな心の実現
・学び続ける力の育成
・思いやりの深化
・地域と学校との連携・協働の充実

学校教育目標

ふるさとを愛し未来を拓く子供の育成 ～少人数の「絆」を生かして～

めざす学校像

- ・安心・安全な学校
- ・わくわくする学校
- ・教職員、児童、保護者、地域
が強い絆で結ばれ信頼される学校



めざす子供像 (育てたい資質・能力)

- ・学んだことを生かせる子
(分かるできる力)
- ◎ 自分の考えを分かりやすく伝え、つながりを広げようとする子 (発信力)
- ・自分も相手も大切にし、互いに協力したり競ったりしながら、高め合うことができる子 (協働する力)
- ・自分の成長に気付き、挑戦しようとする子
(振り返る力)

めざす教職員像

- ・児童を大切にする教職員
- ・笑顔で共に働く教職員
- ・主体的に学ぶ教職員



今年度のキャッチフレーズ “ 届けよう わたしのわくわく 創ろう 最強の絆 ”

重点項目「発信力」に係る具体的取組

- ★自分から学びに向かうための授業づくり
- ・対話を意識した授業改善
- ・表現力を上げるための基礎基本の徹底

- ★体づくりを通して他者とのつながりを広げる場づくり
- ・グループ活動や異学年交流を取り入れた、伝え合う教科体育の充実
- ・運動委員会を中心とした各学期に1回のスポーツイベント

- ★+きずなでつながる安全安心な学校づくり
- ・熊二しぐさの徹底
- ・わくわく・ほっこりしぐさの推奨と発信

★ふるさと学習の推進「熊二学きずなプロジェクト」

- 地域教育資源（ひと・もの・こと）の活用と絆を生かした教育活動の充実（GTによる学習支援等）

- 地域教育資源を生かした体力向上・安全面の確保（GTによる陸上運動の指導、登下校の見守り等）

- 地域教育資源を生かした思いやりの心の深化（GTと協働するクラブ活動や栽培活動、感謝の会等）

教育研究 特別の教科 道徳

「自己の生き方についての考えを深め、よりよく生きようとする児童生徒の育成」
—他者・自己・社会との『対話』を通して—

※道徳教育拠点地域事業中心校（1年目）

コミュニティ・スクールの充実（地域との絆を深める）